



図書だよ



新年あけましておめでとうございます。今年も学級文庫や図書館で、「いい本との出会い」がありますように！

2020年の初めは、図書委員長の初瀬さんと、副委員長の坂東さんが、おススメ本を紹介してくれました！



「悩み部」の成長と、その緊張

麻希一樹 著 (Gakken)

初瀬さんのおススメ本

6階建て校舎最上階の1番奥に郵便箱を備え付けた部屋があり、その部屋では悩み解決部が活動をしています。悩み解決部とは言っても、普段はあまり人が来ないので、お菓子を食べてダラダラしたり、実際に問題を解決しようとしても問題を悪化させたりしたこともあるため、周りからはよく“悩み部”と呼ばれていました。でも、そんな悩み部にもときどき相談に来る人がいます。「無実の罪をかけられた少年のアリバイの証言をしてほしい」や「匿名ラブレターの差出人を調べてほしい」といったさまざまな要望がくるのです。そんな要望に、悩み解決部が立ち向かうお話です。(「5分後に意外な結末」シリーズ)



星の王子さま

サン・テグジュペリ (岩波書店)

坂東さんのおススメ本

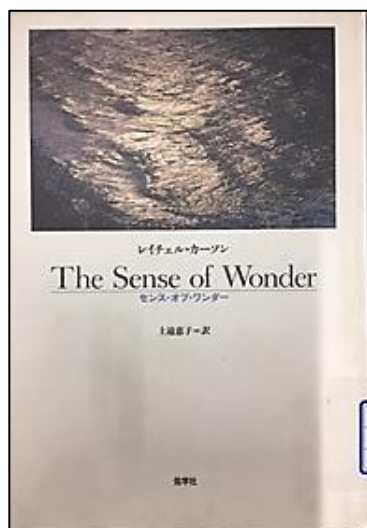
このお話はフランスの作家であり飛空士でもあったサンテグジュペリによって書かれたものです。

砂漠に不時着した飛空士が宇宙のどこかの星からやってきた小さな王子さまと出会います。飛行機の修理をしながら王子さまの星やほかのさまざまな大人たちが住む星の話を聞いていてやがて王子さまはかけがえのない存在になります。でも地球に来て1年が経つある日、王子さまはあることを決意します...

星の王子さまと出会い、成長していく飛空士との物語です。

図書館補助員 荒起さんのコーナー

「センス・オブ・ワンダー」 レイチェル・カーソン



2020 年になりました。今年最初に紹介するのは、「センス・オブ・ワンダー」という本です。

アメリカのベストセラー作家であり、海洋生物学者であったレイチェル・カーソンが書いた作品です。

この本は、詩のような美しい文章で、短時間で読める作品ですが、自然との共存、地球の美しさ、生命の輝きなど、大切なメッセージが心に残ります。

センス・オブ・ワンダーとは、美しいもの、未知のもの、神秘的ものに目をみはる感性のこと。

環境活動家のグレタさんが注目を浴び、気候変動対策が求められている昨今です。

次世代に繋(つな)ぎたい完成にあふれたこの作品、ぜひ一度読んでみてください！



1月の開館予定

★…朝
○…昼休み
◎…放課後

月	火	水	木	金
		火曜日は図書館デー！休み時間もOK！		
	7 ○◎ 始業式	8 ○ 3年実力テスト	9 3年実力テスト 1,2年チャレンジテスト	10 ○
成人の日	14 ★○	15 ○ 図書委員会	16 ○	17 ○
20 ○	21 ★○◎	22 ○	23 ○	24 ○ 3年私立出願
27 ○	28 ★○◎	3 年学年末テスト 1, 2 年マラソン大会	30 ○ 3 年学年末テスト	31 ○ 3 年学年末テスト